

## 第2学年 英語科学習指導案

日 時 令和4年10月3日(火)

学 級 2年A組(男子14名 女子18名 計32名)

指導者 教諭 吉田 幸恵

### 1 単元名 PROGRAM 5 Work Experience (開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE Book 2)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、題材として職場体験が取り上げられており、ダニエル、真央、健の3人がともに職場体験学習を終えて、その体験と学んだことを話している。

言語材料としては、<how to do>、<look[become]+名詞[形容詞]>、SVOO 構文を学習する。これらを使って、職場体験学習についてより詳しく述べる事が可能になる。

生徒にとっては、既習の不定詞などと混同しやすいであろうが、言語活動を通して、適切に活用できるようにさせたい。題材を通して、社会体験学習について事実や自分の考えなどを発表することができるようにさせたい。

#### (2) 生徒観

授業中は概ねどの生徒も前向きに取り組む。教師の発問に対して積極的に反応しようとする生徒がいる一方で、理解不足が原因でなかなか反応ができない生徒もいる。しかし、生徒同士の協力体制は充実しており、表現活動などの際には、わからない生徒が得意な生徒に積極的に助けを求めたり、支援したりという場面もよく見られる。

「話すこと(発表)」では、ALTに一関市のおすすめの食べ物を紹介したり、夢の旅行プランをプレゼンテーションしたりする活動を行ってきた。活動を通して、わかりやすく発表したり、構成を工夫したりすることができるようになってきた。今年度、本校の英語科として育てたい生徒像は「英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒」である。昨年度から学習用タブレット端末を活用しながら、授業改善と苦手克服を意識して指導を進めているが、まだまだ発展途上である。英語確認調査を県と比較すると、正答率、聞くこと、読むこと、書くことが1～3ポイント、「思考力・判断力・表現力等」が23ポイント県平均を上回っているが、「知識及び技能」が3ポイント下回っている。これは、語彙力の不足や文章の構成の理解不足が要因であるととらえている。しかし、「無答率」は低いことから、なんとかして書こうとする意欲は高いと判断している。その気持ちを大切にしながら、考えたことを表現する力を伸ばすために、指導を工夫していきたい。これから力を入れていきたいのは、「話すこと」である。話す機会を十分に与え、生徒同士や生徒―教師間のやり取りを意識し、表現力の向上を目指していきたい。

#### (3) 指導観

第1時では、自分たちの社会体験学習の画像を提示しながら、双方向のやり取りを行い、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握し、学習の見通しをもたせたい。社会体験学習について、事実

や自分の考えたことを話すことができるようにするため、単元を通して、社会体験学習について話す言語活動を継続的に実施する。そのためにさまざまな表現を使わせる機会を確保していかなければならない。本単元で行う学習活動が、のちの「Our Project 5」に役立つのだということを折にふれて話し、また、「Our Project 5」の内容を多少先行させながら、関連性をもたせて指導を展開していきたい。これまでに、すべてのプログラムで学習用タブレット端末を用いて、Retell 活動に取り組みさせてきた。それらを本単元・本時の表現活動に生かせるよう支援していきたい。

### 3 単元の目標

A L Tに社会体験学習や、自分のことについてよりよく知ってもらうために、自分の社会体験学習について事実や自分の考え、気持ち、その理由などを、簡単な語句や文を用いて発表することができる。

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>【知識】</b>            ・ how to ～、&lt;look+形容詞&gt;、&lt;become+名詞[形容詞]&gt;、(主語+動詞+人+もの)などの意味や働きを理解している。</p> <p><b>【技能】</b>            ・ how to ～、&lt;look+形容詞&gt;、&lt;become+名詞[形容詞]&gt;、(主語+動詞+人+もの)などの意味や働きの理解をもとに、社会体験学習について話す技能を身につけている。</p>	<p>A L Tに社会体験学習や、自分のことについてよりよく知ってもらうために、自分の社会体験学習について事実や自分の考え、気持ち、その理由などを、簡単な語句や文を用いて発表することができる。</p>	<p>A L Tに社会体験学習や、自分のことについてよりよく知ってもらうために、自分の社会体験学習について事実や自分の考え、気持ち、その理由などを、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。</p>

5 単元の指導計画（全9時間）本時8時間目

時間	ねらい（■）、言語活動等（・）	I C T活用のねらい	知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■自分の社会体験学習について紹介する。</p> <p>・A L Tやペアでやり取りする。</p>	<p>資料提示</p> <p>発表の記録</p>			
2	<p>■自分のできることに話す。</p> <p>・how to ~の用法を理解し、運用する。</p> <p>・自分ができることに表現する。</p>	資料提示			
3	<p>■友だちの様子について話す。</p> <p>・&lt;look+形容詞&gt;&lt;become+名詞[形容詞]&gt;の用法を理解し、運用する。</p> <p>・友だちの様子について表現する。</p>	資料提示			
4	<p>■自分にしてほしいことについて話す。</p> <p>・&lt;主語+動詞+人+もの&gt;の用法を理解し、運用する。</p> <p>・自分にしてほしいことについて表現する。</p>	資料提示			
5	<p>■社会体験学習について自分の言葉で話す。</p> <p>・Think 1 本文の確認・音読練習をする。</p> <p>・読み取りポイントやQ &amp; Aに取り組み、本文の内容を理解する。</p> <p>・社会体験学習について自分の言葉で話す。</p>	<p>資料提示</p> <p>授業への意欲喚起</p> <p>発表の記録</p>			
6	<p>■社会体験学習について自分の言葉で話す。</p> <p>・Think 2 本文の確認・音読練習をする。</p> <p>・読み取りポイントやQ &amp; Aに取り組み、本文の内容を理解する。</p> <p>・社会体験学習について自分の言葉で話す。</p>	<p>資料提示</p> <p>授業への意欲喚起</p> <p>発表の記録</p>			
7	<p>■社会体験学習について自分の言葉で話す。</p> <p>・Think 3 本文の確認・音読練習をする。</p> <p>・読み取りポイントやQ &amp; Aに取り組み、本文の内容を理解する。</p> <p>・社会体験学習について自分の言葉で話す。</p>	<p>資料提示</p> <p>授業への意欲喚起</p> <p>発表の記録</p>	○		
8 本時	<p>■社会体験学習について考えなどを整理して、友だちに発表する。</p> <p>・Small Talk</p> <p>・教師の発表を聞く。</p> <p>・社会体験学習について自分の言葉で話す。</p> <p>・発話内容を共有し、改善する。</p>	<p>ふり返り</p> <p>個別最適化</p> <p>発表の記録</p>		○	○
9	<p>■A L Tに、社会体験学習の様子や、事実、自分の考え、気持ちなどを発表する。</p> <p>・A L Tに発表する。</p>	思考の共有		○	○

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・社会体験学習についてのプレゼンテーションを作り、発表する。

(2) 本時の評価規準

	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手立て
思考・判断・表現	社会体験学習について体験先、仕事内容、感想や自分の考えを話している。	机間指導を通した個別指導 ヒントを与えながら支援する。

(3) 本時の展開

指導過程	学習内容	学習活動・ 予想される生徒の反応	I C T活用の ねらい	指導上の留意点
導入 8分	1 あいさつ			
	2 Small Talk	社会体験学習の画像を見ながら教師の発問に対応する。	授業への意欲喚起	
	3 学習課題の確認	学習課題を把握する。	課題把握	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">           学習課題             社会体験学習について、プレゼンテーションをしよう。         </div>				
展開 40分	4 教師の発表を聞く	文章の構成の仕方(導入⇒展開⇒終末)を再確認する。 マッピングを活用する。		内容に①体験先 ②やったこと③感想を盛り込むよう指導する。
	5 社会体験学習について発表し合う	プレゼンテーションを作り、口頭練習を行う。 ペアで発表し合う。 グループ内で発表を聞き合い、アドバイスをする。 協力しながら行う。 何人(ペアなど)かに発表させる。	課題解決	机間巡視をしながら、下位の生徒を支援する。
終末 2分	6 ふり返り	本時をふり返る。	個別最適化	Teams で入力を確認する。
	7 あいさつ			

(4) 板書計画

学習課題：社会体験学習のプレゼンテーションをしよう。

【文章の構成】

導入⇒展開⇒まとめ

画像 1-1

画像 1-2

画像 2-1

画像 2-2

